

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は8月24日週報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～牛乳類の販売前週と同水準～価格改定の影響は引き続き注視が必要～」

- ・8/7週の牛乳類は、前週(7/31週)と比較して、販売個数は概ね横ばいとなった。昨年同週は関東から北日本を中心に不安定な気候であった反動等もあり前年との減少率は縮小した。多くの牛乳類で価格改定が徐々に浸透している模様で、販売単価は前週から牛乳類トータルで7円程度引き上げとなったが、価格改定2週目の販売個数の結果は、減少幅がわずかに留まっていると見受けられる。連日の猛暑に加え、牛乳類の中で価格優位性のある乳飲料へシフトしている動きが見られる。
- ・はっ酵乳の販売個数は、全ての品目で前週よりも減少した。はっ酵乳全体としてはこれまでの傾向に変化はなく前年を下回っている。今回のデータを見ると8月を境に大容量タイプの価格が上昇しており、今後の動向に注視したい。
- ・バターの販売個数は、前週よりもわずかに増加したものの、5週連続で前年を下回った。
- ・今後改定を予定している小売、流通があり、さらなる消費減退の懸念がある一方で、向こう1ヶ月の気温は全国的に例年より暑くなるとの予報があるなか、今後の消費動向には引き続き注視する必要がある。なお、7月のインバウンドはコロナ禍前(2019年)と比較すると78%まで回復しており、中国を除くと103.4%とコロナ禍前を初めて上回った。8月10日には、中国政府が日本向け団体旅行を3年半ぶりに解禁したため、今後の経済への波及効果から業務用需要の伸びに期待がかかる。
- ・業界内外を巻き込んだ消費拡大の取り組みが進められているところではあるが、物価高による家計負担は依然として重く、今週公表された4～6月期の国内総生産(GDP)速報値でも個人消費は弱含みとなった。電気料金やガソリン価格の高騰から家庭内消費は更に厳しい状況となる可能性もあるため、より一層継続的な需要喚起に取り組む必要がある。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

- 「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
- 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
- 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qzb.html>

「延長決定」

「土日ミルク」啓発ツールの無償提供: 2024年3月19日(火)締切

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(8/7週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同94.2%、成分調整牛乳: 同86.3%、加工乳: 同96.2%、乳飲料: 同104.8%。

牛乳類トータルでは同95.1%

※参考: 2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は93.4%。

・販売単価は、牛乳: 225.5円、成分調整牛乳: 209.1円、加工乳: 223.6円、乳飲料: 173.5円。

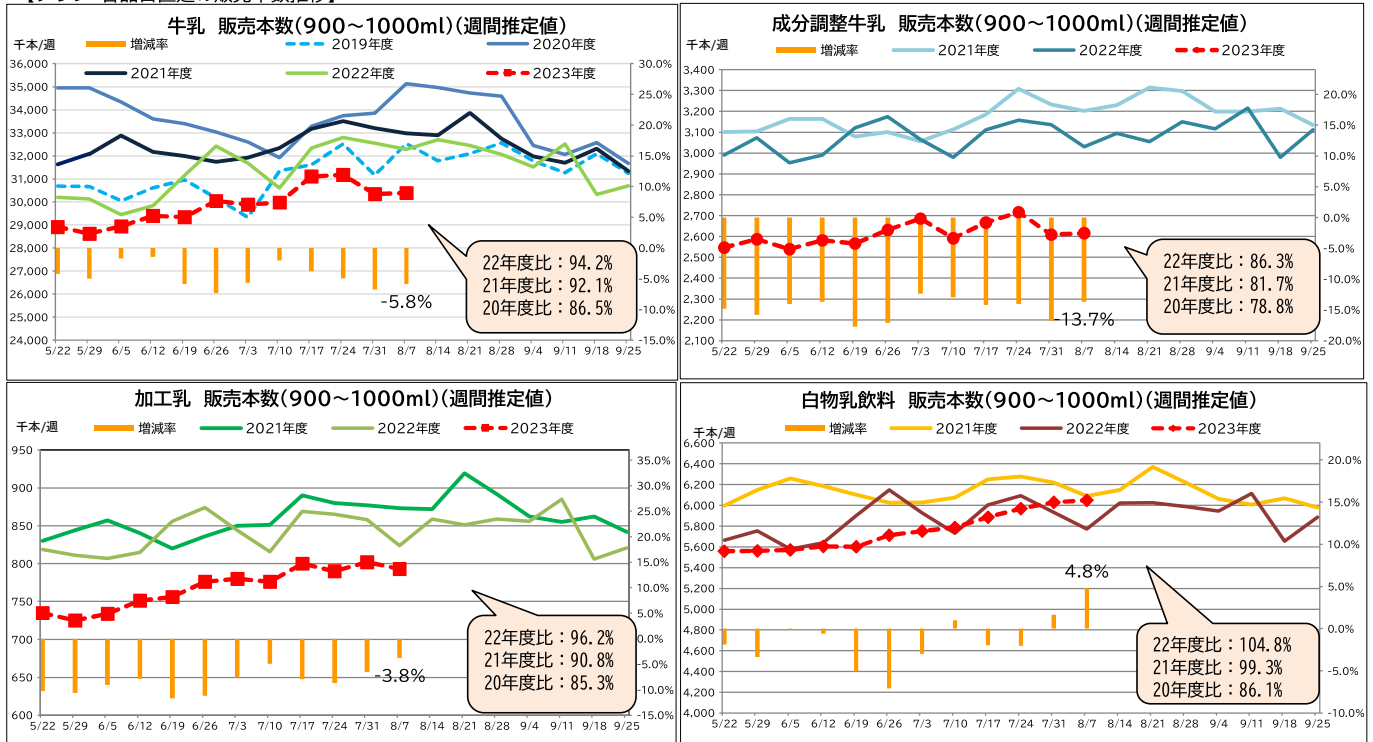
※出典: ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	6.19-	6.26-	7.3-	7.10-	7.17-	7.24-	7.31-	8.7-	23.8.7- 22.10.24 価格差	23.8.7- 23.3.20 価格差	23.8.7- 23.7.24 価格差
		販売個数	38,260	39,162	39,102	39,128	40,459	40,648	39,783	39,847	33.2	18.3
トータル	販売個数前年比	93.2	91.9	94.2	97.5	95.6	94.7	93.7	95.1			
	販売単価	200.0	199.8	199.9	199.9	200.1	200.5	209.0	216.5			
牛乳	販売個数	29,338	30,043	29,884	29,973	31,105	31,174	30,344	30,389	35.2	18.9	17.7
	販売個数前年比	94.2	92.7	94.3	98.0	96.2	95.1	93.2	94.2			
成分調整牛乳	販売個数	2,566	2,631	2,686	2,591	2,667	2,716	2,609	2,616	35.2	20.4	15.9
	販売個数前年比	82.2	82.9	87.6	87.0	85.7	86.0	83.2	86.3			
加工乳	販売個数	756	776	780	776	800	790	802	793	32.7	22.3	11.7
	販売個数前年比	88.3	88.8	92.5	95.1	92.1	91.3	93.4	96.2			
乳飲料	販売個数	5,600	5,712	5,751	5,787	5,886	5,969	6,029	6,049	23.6	13.8	9.2
	販売個数前年比	94.9	92.9	97.0	101.0	98.0	98.0	101.6	104.8			
	販売単価	164.0	164.2	163.5	163.6	163.7	164.3	169.7	173.5			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(8/7週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、前週(7/31週)と比較して、全ての品目で減少した。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回っている。

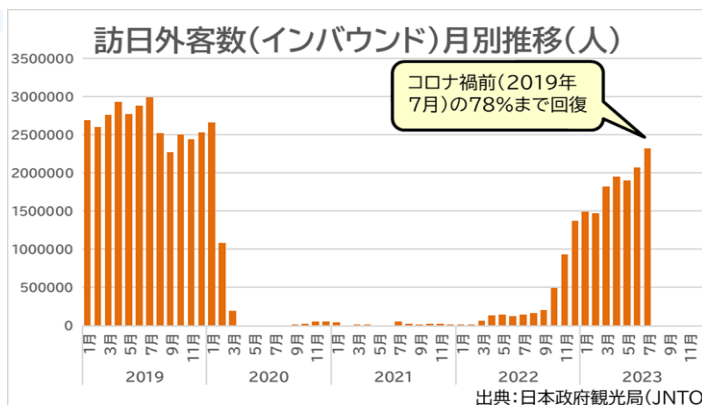
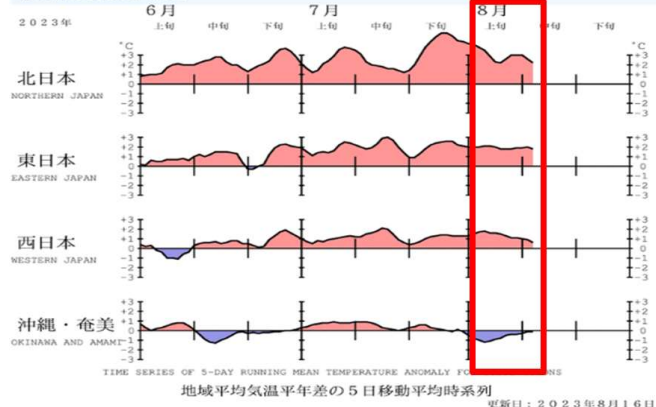
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	6.19-	6.26-	7.3-	7.10-	7.17-	7.24-	7.31-	8.7-
ドリンクタイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇
個食タイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇
大容量タイプ	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇	👇

- 👇 : 前年比90%未満
- 👆 : 前年比105%以上110%未満
- 👉 : 前年比90%以上100%未満
- 👈 : 前年比110%以上120%未満
- 👊 : 前年比100%以上105%未満
- 👍 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※8/7週の気温経過 出典:気象庁  
前3か月間の気温経過



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」